新年のご挨拶

可能性を追求できるまち　三豊

三豊市長
山下昭史

新年明けましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、三豊市に限らず、全国的に地震、台風、大雨といった自然災害に何度も悩まされた年となりました。特に、7月に発生した西日本豪雨では、本市においても、道路の陥落による集落の孤立化や、財田川が氾濫寸前の状態となるなど、多くの甚大な被害が発生いたしました。人命に関わるような被害はありませんでしたが、過去に大きな災害を経験していない三豊市にとって、この度の災害は、日頃からの防災対策や災害時の対応を一人ひとりが見つめ直す貴重な機会となったのではないかと思います。

一方で、昨年は三豊市が観光地として大きな注目を浴びた年でもありました。特に仁尾町の「父母ケ浜」は多くのメディアで取り上げられ、連日、国内外からたくさんの人が訪れています。そしてなんと、その海岸から望む夕日は旅行情報誌の「行ってみたい夕日絶景ランキング」で全国1位に輝きました。これはひとえに、長年、美しい海岸を守ってこられた地域の皆さまのご苦労の賜物であり、深く敬意と感謝の意を表します。

また、三豊市出身の桃田賢斗選手がバドミントン世界選手権で優勝を勝ち取り、棒高跳びでは田中伶奈選手がU20日本選手権での優勝とともに高校新記録を樹立するなど、本市に関係する多くの方々が輝かしい活躍を見せてくれています。彼らの活躍は地域の誇りであり、大きな励みとなりますので、今後も全力で応援してまいりたいと思います。

さて、2008年に1億2808万人というピークを迎えた日本の人口は緩やかな減少に転じ、将来的には2050年頃に1億人を割り込み、さらには2100年頃に5000万人を割り込むとも予測されています。本市を含め地方においては、その減少傾向がより顕著であることは言うまでもありません。

人口減少は、経済、地域社会、医療や介護など、私たちの生活そのものに大きな影響を及ぼします。対策は非常に困難ではありますが、何か手を打ち、新たなことにチャレンジしなければ状況は変わりません。そこで三豊市が注目しているのは、AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）といった新しい技術です。これらの技術は、既に不足し始めている労働力を補い、業務の大幅な効率化など、非常に大きな可能性を秘めており、製造業や農業をはじめ、幅広い分野での活用が期待されています。本市では、AIの技術研究や人材育成を目的に、AI研究の第一人者である松尾豊氏（東京大学大学院特任准教授）と連携し、若い世代が新たな可能性を追求できるようなまちづくりにチャレンジしてまいります。

平成も残すところ4カ月となりました。「平成最後の」と題した行事もいよいよ終盤を迎え、5月からは新しい元号のもと、世の中が動きはじめます。新たな時代の幕開けとなる本年が、市民の皆さまにとって素晴らしい一年となることをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

市民参加の機会拡充をめざして

三豊市議会議長
詫間政司

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さま方におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

さて、日本列島は昨年も多くの災害に見舞われました。本市におきましても多難な年となりました。特に夏場においては、7月豪雨や度重なる台風の襲来に遭い、9月定例会においても、水防本部が設置されている中での異例の開会となりました。三豊市ではここ数年、防災には力を注いでおりますが、改めて「想定外」とならないよう、あらゆる面での対策が必要だと再認識いたしました。

そのような中、昨年は三豊市発足13年目の年であり、2月には4期目の選挙を経て新しい議会体制となりました。市政運営の基本、また議会としての役割は多くの市民の皆さまの意見を把握し、それを踏まえたうえで、より良い施策を決定し、実行に移していくことであります。

市議会では市民の皆さまに対し「開かれた議会」をめざし、数年前から議論を積み重ねてまいりました。その中で皆さま方の地元に出向き、意見交換などをさせていただく「議会報告会」では、いただいたご意見の中から代表的なものを抽出し、「市政に対する要請書」としてまとめました。また、決算特別委員会での審査の一環として「議会事務事業評価」を実施し、市政の重要な施策に対して審査を行い、「評価結果」としてまとめました。その2件を9月定例会の最終日に市長に手渡しており、平成31年度予算編成作業、また議会での予算審議に繋げてまいります。

三豊市議会は、今後も市民の皆さまの多様なご意見を把握し、具体的な施策に結びつけるべく、市民参加の機会拡充をめざして議論を重ね、活動してまいります。そして二元代表制のもと、地方議会、地方議員の役割である「公共政策の決定者・執行権力の監視者・政策などの提案者・民意の意見集約者」の4点を常に肝に銘じ、市執行部との健全な関係を保ちながら、議員一人ひとりがより一層心を引き締め、三豊市の更なる発展に尽力してまいります。

最後に今年一年が皆さまにとって、実り多き年でありますことをご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

三豊市議会

議長
詫間政司

副議長
込山文吉

議員
横山強
為広員史
瀧本文子
三宅静雄
三木秀樹
城中利文
金子辰男
岩田秀樹
坂口晃一
川北善伴
西山彰人
水本真奈美
浜口恭行
丸戸研二
石井勢三
市川洋介
高木修
近藤武
田中達也
湯口新